



会員企業サポート室だより

会員企業サポート室長 濱田 哲一

日本食品の調理デモに長蛇の列 「第3回中国広州国際食品食材展覧会」

6月26日～29日に保利世貿博覧館で開催された「第3回広州国際食品食材展覧会」でジェトロ広州が日本食品取扱企業11社（内広州日本商工会会員企業2社）を取りまとめたジャパン・パビリオンにて、広州における日本ならびに日本食の理解促進を目的とし、在広州日本国総領事館、広州日本商工会、ジェトロ広州の三位一体活動の一環として、三者共同による広報ブースを設置し、日本食の調理デモ等を実施しました。

主催者のCCPIT広州市の他、CCPIT中国、広東省対外経済合作庁等からの要請に協力したもので、会期初日の26日午前に行われた「VIP巡覧」の際には、新たに就任したばかりの広州市の駱蔚峰・副市長（経済担当）が出席、栗原副会長が塚田ジェトロ広州所長、高麗在広州日本国総領事館領事とともに応対し、ジャパン・パビリオンを視察しました。

日本食品の調理デモは、在広州日本総領事館の庄司シェフがちらし寿司とサーモンの炙り寿司を実演、27日には領事館職員、ジェトロ広州事務所員が浴衣姿で、来場者に振る舞った。シェフがサーモンを炙り始めると、長蛇の行列が出来あがるほどの盛況ぶりでした。この様子は、広東テレビ台会展頻道（7月4日（金）19時～）でも放映された。

日中関係の緊張が時に会員企業のビジネスに影響を与えることもあるが、今回のように広州市政府や広東省政府が主催する展示会において、三位一体で日本ブランドのイメージアップに繋がる広報展示活動を今後も実施していく予定です。



サーモン炙り寿司実演



三位一体運営広報ブース